

GnRH アゴニスト投与（偽閉経療法）についての説明書

GnRH アゴニストとは、脳下垂体に働いて卵巣を刺激するホルモンの分泌を下げ、卵巣の働きを抑えるお薬です。胃酸で分解されてしまうので飲み薬としては使用できず、注射剤や点鼻薬として投与します。卵巣の働きが抑えられると卵巣から分泌される女性ホルモン（エストロゲン）が低下し、閉経したのと同じ状態になります（偽閉経療法とも呼ばれます）。GnRH アゴニストは子宮内膜症や子宮筋腫の治療薬として使用されています。

GnRH アゴニストの種類

	製剤名	剤型	使用法	値段（3割負担）
1	ナサニール・スプレキュア	点鼻剤	2-3回/日点鼻	約 6500 円
2	リュープリン 1.88	注射剤（低用量）	4週間毎皮下注	約 9440 円
3	リュープリン 3.75	注射剤（高用量）	4週間毎皮下注	約 12350 円
4	ゾラデックス 1.8	注射剤（低用量）	4週間毎皮下注	約 10350 円

※ 値段は薬そのもの(4週間分)の金額です。別途再診料、ナサニールでは処方箋料が発生します。

※ 注射薬の方が効果は高く、1回の注射で1ヶ月効果が持続します。点鼻薬は安価で、いつでも中止できます。

GnRH アゴニストの効果

1) 子宮内膜症

投与開始数ヶ月後には、卵巣チョコレート嚢胞は縮小し、子宮後方の炎症が抑えられ手術がしやすい状態になります。このように GnRH アゴニストは子宮内膜症による骨盤内の炎症を鎮静化する作用があり、手術前の投与により、術後の癒着を減らす作用もあります。

2) 子宮筋腫・子宮腺筋症

子宮筋腫や腺筋症の大きさを小さくし、症状を緩和します。また、手術をやりやすくする効果もあります。

GnRH アゴニストによる月経の変化

GnRH アゴニストの投与を始めると通常は1~2ヶ月後に月経が停止します。ただし月経が完全に停止せず少量の出血が続いたり、月経が停止するまで3ヶ月以上かかることもあります。月経の停止と前後して更年期障害のような副作用が感じられます。月経が完全に停止しない場合は妊娠する可能性がありますので、投与中は避妊してください。また、初回投与後に一度月経様出血を認めることがあり、これが多量となる場合があります。

GnRH アゴニストによる副作用

卵巣からのエストロゲンの分泌が低下することにより、更年期障害のような副作用が起こります。

1) 重篤な副作用

①骨量低下：6ヶ月間の投与により3~6%の骨量低下が起こります。骨量低下を予防するには、カルシウムの摂取と運動が有効です。②うつ状態、脱毛：発症することは稀です。薬剤の投与中止により速やかに改善します。

2) その他の副作用

急に暑くなったり汗が出る症状（ホットフラッシュ）、いらいら感や不眠など、更年期障害でみられる症状はすべて出現する可能性があります。投与の中止が必要になることは稀ですが、副作用がひどい場合には症状を緩和するために漢方薬などを同時に投与します。